

令和 6 年度

社会福祉法人八街市社会福祉協議会

事業報告書

■令和 6 年度事業報告概要

令和 6 年度は事業計画の事業方針に則り、地域共生社会の実現のため第 3 次地域福祉活動計画（八街ひまわりふれあいプラン）を推進しました。

具体的にはちいき支え合い懇談会を各中学校区で開催し、小中高生の参画により活発な意見交換と、これまでにない角度からの意見そして大人顔負けの発表など、想像以上の成果を得ることができました。

また、地区担当制をひき地区社協の推進や法人研修を強化することにより組織の底上げにつなげることができました。

令和 6 年度の事業をとおして見えてきた課題には、財政基盤の弱体化、地区担当制の機能的・能動的向上、コンプライアンスの遵守が上げられました。

今後は、職員一人ひとりがこのような課題を我がごとと捉え、組織が共通理念により一丸となって、市民や関係機関との連携・協働による 5 年後・10 年後を見据え活動していく必要があります。

■目次

○基本目標（一）みんなで支え合う地域づくり

- ①会の運営及び連絡調整・・・P4～
- ②地区社協活動の推進・・・P8～
- ③地区会活動関係・・・P14～
- ④善意銀行の運営・・・P15～
- ⑤自主財源の確保・・・P17～
- ⑥身元不明者供養事業・・・P23～
- ⑦母子・父子福祉事業・・・P24～
- ⑧高齢者福祉事業・・・P24～
- ⑨児童福祉事業・・・P27～
- ⑩障がい者福祉事業・・・P29～
- ⑪共同募金関係・・・P30～
- ⑫災害・防災関係事業・・・P35～
- ⑬日本赤十字社千葉県支部八街市地区業務の受託・・・P38～

○基本目標（二）みんなの心が育む人づくり

- ⑭ボランティア活動の促進・・・P40～
- ⑮福祉教育の推進・・・P42～
- ⑯福祉団体の育成・・・P44～

○基本目標（三）みんなの心が育む人づくり

- ⑰総合相談事業の運営・・・P46～
- ⑱各種資金貸付事業・・・P49～
- ⑲広報・啓発活動・・・P50～
- ⑳在宅福祉サービス促進事業 P52～

○指定管理業務の充実

- ㉑八街市児童館ひまわりの家事業報告
- ㉒八街市老人福祉センターゆうゆう事業報告
- ㉓八街市南部老人憩いの家事業報告

○基本目標（一）みんなで支え合う地域づくり

①会の運営及び連絡調整

計画の推進状況：地域のネットワーク機能の強化に寄与し、社会福祉協議会の事業や予算、課題を共有することにより横のつながりの強化を図った。特にちいき支え合い懇談会では多世代の参加ができたことにより、福祉意識の醸成（育む）と少子化・高齢化等で生じる課題の発見と共有に寄与することができた。

○事業内容詳細及び課題

■理事会・評議員会の開催

（内容）

本会の業務を円滑に遂行するために、理事会・評議員会を年４回開催した。

（実施日及び実績等）

・理事会

第１回理事会 ６月４日（火）参加者 １１名、監事 １名

第２回理事会 ６月２５日（木）参加者 ９名、監事 １名

第３回理事会 １２月５日（木）参加者 １１名、監事 ２名

第４回理事会 令和７年３月１３日（木）参加者 １１名、監事 ２名

・評議員会

定時評議員会 ６月１９日（水）参加者 ２０名、監事 １名

第２回評議員会 ９月１７日（火）参加者 １７名

第３回評議員会 １２月１９日（木）参加者 １７名

第４回評議員会 令和７年３月１３日（木）参加者 １８名

（事業の課題及び展望）

令和６年度は理事・評議員と組織の課題（財政基盤）を共有したものの、その課題の解決策や今後の方向性を十分に検討する必要があった。令和７年度は理事・監事、評議員の一斉改選の年であるため、スムーズに選任できるように心がける。

■事務局会議の開催

（内容）

会長及び事務局長、管理職（指定管理施設も含む）が毎月月末に開催し、スケジュールの確認や情報の共有を行った。

（実施日及び実績等）

毎月１回、月末に開催。

（事業の課題及び展望）

事務局会議は円滑に本会を運営するために開催しているため、会議の質を高めていくことが課題である。そのため、各役職が事前に念入りに準備をし情報の質を高めていくことが求められる。

■管理職会議

(内容)

社会福祉協議会の組織運営を充実させるために、係長以上の管理職が毎月現状報告及び課題、展望、スケジュールなどを共有し、ブラッシュアップすることにより質の高い組織運営を目指すため開催している。

(実施日及び実績等)

毎月第3木曜日に開催

(事業の課題及び展望)

管理職会議の提案・協議事項は事務局会議で共有し、必要なことは理事会・評議員会に提案する流れとなっている。しかし、提案するまでの時間が必要以上にかかり過ぎており、迅速さにかけることが課題である。

今後は、管理職会議がより機能的・能動的になることにより組織運営の質を高めていく必要がある。

■福祉サービスに対する苦情解決第三者委員の設置

(内容)

本会が行う福祉サービスへご要望やご不満がある場合、苦情受付担当者(事務局長)が受付し相談にのります。

苦情解決責任者：石川良道理事 苦情解決受付者：土屋武志事務局長

苦情解決第三者委員：嶋田文博、天野正延、山本順一

(実施日及び実績等)

令和6年度は受付なし

(事業の課題及び展望)

気軽に本会にご不満やご要望が相談できるよう事務局の体制を整える必要がある。また、今後、案件があった際には迅速かつ丁寧に対応することが求められる。

■監事による会計監査

(内容)

本会の会計及び業務が社会福祉法人として適法性・妥当性を確認するため監事による監査を実施します。

(実施日及び実績等)

令和5年度監査5月29日(水)

監事 鈴木慶夫 川崎美嘉子

(事業の課題及び展望)

財政状況の悪化により財政基盤の充実、無駄のない会計処理が求められている。そのため事務局で実施する業務と専門家(税理士やシステム会社)に依頼する内容を十分に協議し、会計処理を行う必要がある。

■デジタル化の推進

(内容)

社会全般においてデジタル化が推進されていくなか、募金活動や事務処理ペーパーレス化などを推進する必要がある。

(実施日及び実績等)

毎月 1 回本会がホームページ運営やその保守契約締結しているぱんださんうえぶによるアドバイスを実施しデジタル化の推進に努めた。

また、共同募金などの募金活動では QR コードを読み取り、ペイペイで募金できるように令和 6 年度はじめて運用された。

(事業の課題及び展望)

ペーパーレス化が進んでいないことや IT リテラシーの向上についても、職員一人ひとりのモチベーションがかなり低い状況である。今後は法人の内部研修を通じてデジタル化の推進を行っていく必要がある。

■第 3 次八街ひまわりふれあいプランの推進

(内容)

令和 5 年度に策定した第 3 次八街市地域福祉活動計画（八街ひまわりふれあいプラン）の推進のため、1 年目の推進を下記のとおり実施した。

(実施日及び実績等)

○委員長 朝陽地区社協会長 松本 智博氏
副委員長 市社会福祉課長 渡辺 近氏

○推進委員会実施回数 3 回

第 1 回推進委員会 7 月 23 日（火）

第 2 回推進委員会 10 月 25 日（金）

第 3 回推進委員会 令和 7 年 2 月 28 日（金）

○地域福祉推進職員研修

地域福祉計画を推進するため、市職員と社協職員合同で研修会を開催した。

第 1 弾 11 月 19 日（火）

第 2 弾 令和 7 年 2 月 26 日（水）

講師 順天堂大学専任准教授 松山 毅氏

○ちいき支え合い懇談会 4 中学校区で下記のとおり開催した。

地域の課題を共有し、解決策を模索するため懇談会を開催したところ、多くの子どもたちが参加し大変有意義な懇談会を開催することができた。また、子どもたちから出た意見を次年度以降に継続できるよう心がけていきたい。

八街中央中学校区 12月1日(日) 参加者 34名
八街北中学校区 12月8日(日) 参加者 32名
八街中学校区 12月15日(日) 参加者 45名
八街南中学校区 令和7年1月18日(土) 参加者 60名

○CSW 育成研修

計画推進の一貫として千葉県のCSW 育成研修を誘致し下記のとおり開催した。

「地域福祉の担い手養成講座」 12月16日(月) 参加者 30名
講師 淑徳大学 教授 菅野 道生氏

○やちまた『こどもまんなか』シンポジウム

第1次地域福祉活動計画の推進で立ち上げた子どもの居場所ネットワーク協議会で下記のとおりシンポジウムを開催した。

主催 子どもの居場所ネットワーク協議会
令和7年3月16日(日) 参加者 51名

・第1部 基調講演

講師 こども家庭庁支援局 課長補佐 胡内 敦司氏
テーマ これからのこども・子育てを考える

・第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 八街中学校 2年生 小川 幸智さん
パネラー① NPO 法人ハーベストミュージックジャパン
事務局長 下川 千加子氏

「制服リユースとフードパントリーの活動について」
パネラー② (一社) 子どものみらい開墾者／ナッツアップ?
代表理事 太田 蒔子氏

「中高生のフリースペースについて」
パネラー③ 八街市児童館ひまわりの家
館長 長谷川 正幸氏

(事業の課題及び展望)

地域福祉計画を市と協働で今後どのように推進していくかが課題としてあげられる。また、毎年開催する「ちいき支え合い懇談会」を「なぜ毎年開催するのか?」、次なる展開をしっかりと地域に示す必要がある。また、地区社協または中学校区の計画策定に向けて次年度以降の推進を進めていく必要がある。

■SDG s の推進

(内容)

SDG s を推進するため、ちば SDG s パートナーを更新した。登録番号128号を令和10年2月17日までの登録となった。

(実施日及び実績等)

- SDGs の取り組み① 環境：1 再生またはリサイクル可能資源の収集及び寄付物品の利活用 2 印刷用紙の使用を必要最小限にする
- SDGs の取り組み② 社会：フードパントリー事業の拡大
- SDGs の取り組み③ 経済：地域の CSR の取り組みを推進

(事業の課題及び展望)

KPI を定めた数値の達成が課題であり、組織全体で SDGs を推進する目的意識の共有・啓発が必要である。今後の展望として 2030 年に向けて、目に見える形での実績を示していく必要がある。

■法人研修の実施

(内容)

本会職員の資質を高めるため OJT、OFF-JT の研修を開催した。

(実施日及び実績等)

- 令和 6 年 3 月 28 日 (木) 新人研修「社会福祉協議会全般」
- 4 月 30 日 (火) 新人研修①地域福祉
新人研修②SW・生活困窮
新人研修③IT リテラシー
- 6 月 10 日 (月) 法人研修「合理的配慮」
講師 淑徳大学 教授 松浦 敏弥氏
- 7 月 4 日 (木) 新人研修④法人内連携
- 7 月 10 日 (水) 「地域福祉ってなに？」
講師 順天堂大学 専任准教授 松山 毅氏
- 10 月 9 日 (水) 新人研修⑤上半期の振り返り
- 3 月 19 日 (水) 新人研修⑥令和 6 年度の振り返り

(事業の課題及び展望)

学びっぱなしにならないよう適宜振り返りや学び直しが必要である。今後の展開としては、社会福祉士を取得していない職員のモチベーションの向上や資格取得に向けた組織の考え方の協議を行っていくことも必要である。

②地区社協活動の推進

計画の推進状況：地域の特性に応じて地区社会福祉協議会が運営する子育てサロンや高齢者サロン、健康体操などの活動が積極的に開催され、子どもから高齢者までの多世代が活躍、参加できる機会を形成することができた。

○事業内容詳細及び課題

■地区社協活動の支援

(内容)

小地域内の福祉課題に対して主体的・自発的・計画的に事業を取り組む地区社協に対し、活動に必要な財政支援（基本助成金など）をはじめ、活動についての相談、助言、情報提供、研修会の実施など支援を行った。

(実施日及び実績等)

【八街東地区社協】

福祉委員：74名 役員：22名

委員会：年1回開催（4/23）

役員会：年5回開催（5/7、9/19、11/20、2/5、3/25）

広報紙：「ひがし」第69号発行

■実施事業

地理と歴史めぐり（5/15）参加者50名

青少年相談員主催東学区青少年交流会（7/20）

ふれあい訪問：年1回

役員視察研修（3/6）

3年間の決算報告

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	1,533,310円	1,722,431円	1,603,291円
支出	367,178円	683,826円	529,397円
繰越金	1,186,132円	1,038,605円	1,073,894円

【実住地区社協】

福祉委員：81名 役員：31名

委員会：年1回開催（4/20）

幹部会：年5回開催（5/11、7/6、9/7、10/5、3/8）

三役会議：年6回開催

（4/20・5/25・8/17・12/20（臨時）・1/18・2/22）

広報紙：「ふくし両総」第28号発行

■実施事業

・ひまわりサロン：年5回（5/14・6/11・7/9・10/8・11/12）

参加者延べ187名

・明朗塾生との親善グランドゴルフ（5/26）

・ひとり暮らし高齢者交歓会（6/20）ホテルカアナパリ・玉前神社

参加者41名

・小域地域福祉フォーラム（10/6）親子芋掘り体験 参加者74名

- ・福祉行政視察研修（2/18）昭和天皇記念館・羽田空港第3ビル・そなエリア
参加者 22 名

3 年間の決算報告

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入	1,928,029 円	2,083,566 円	2,120,797 円
支出	667,294 円	769,390 円	891,899 円
繰越金	1,260,735 円	1,314,176 円	1,228,898 円

【実住中央地区社協】

福祉委員 66 名 役員 25 名

委員会：年 1 回開催（4/23）

役員会：年 3 回開催（6/26、10/24、3/19）

広報紙「かけはし」：年 1 回発行

■実施事業

- ・健康体操：年 10 回開催 ※内 2 回は中止 延べ参加者数：71 名
- ・励ましのお便り活動：年 1 回実施 対象：378 世帯
- ・「福祉文庫」助成金：実住小・中央中学校

3 年間の決算報告

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入	1,512,862 円	1,869,720 円	1,751,046 円
支出	728,187 円	1,006,913 円	981,102 円
繰越金	784,675 円	862,807 円	769,944 円

【六区地区社協】

福祉委員：28 名 役員：18 名

委員会：年 1 回開催（4/20）

幹部会：年 1 回開催（1/5）

広報紙：「ろっくだより」発行

■実施事業

- ・いきいき百歳体操：年 42 回 参加者延べ 500 名
- ・ろっくサマーフェスティバル（7/27）
- ・視察研修（3/15）有明防災センター・築地 参加者 33 名

3 年間の決算報告

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入	554,983 円	604,090 円	671,835 円
支出	157,346 円	156,116 円	384,223 円
繰越金	397,637 円	447,974 円	287,612 円

【二州地区社協】

福祉委員：57名 役員：25名

委員会：年1回開催（4/18）

役員会：年3回開催（5/27、7/22、3/28）

広報紙：「ふくしの窓」第37号発行

■実施事業

- ・友愛訪問：年2回 対象：65歳以上ひとり暮らし高齢者
- ・青少年相談員による子供会参加（7/21）
- ・二州第一、第二保育園児へのサツマイモ掘り体験（10/20）
- ・八街御成街道祭り参加（11/3）

3年間の決算報告

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	939,656円	1,031,106円	998,843円
支出	246,431円	336,370円	321,915円
繰越金	693,225円	694,736円	676,928円

【朝陽地区社協】

福祉委員：63名 役員：18名

委員会：年3回開催（4/28、6/30、11/9）

役員会：年2回開催（6/9、10/14）

広報紙：「あさひ」発行なし

■実施事業

- ・朝陽わくわく祭り：（11/24）朝陽小学校体育館
住野おはやし会、朝陽幼稚園・保育園の遊戯
やちまた音楽部、わくわく体操
Wellness KABU club ダンス
- ・友愛訪問：年2回（8月、12月）対象：75歳以上ひとり暮らし高齢者
インスタント味噌汁、スープ等の配布

3年間の決算報告

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	1,079,397円	1,252,090円	1,074,095円
支出	200,688円	505,299円	279,446円
繰越金	878,709円	746,414円	794,649円

【交進地区社協】

福祉委員：50名 役員：26名

委員会：年1回開催（4/20）

幹部会：年5回開催（5/11、6/15、8/24、12/14、2/15）

広報紙：「こうしん」第38号発行

■実施事業

・ふれあい事業：年1回

対象：65歳以上ひとり暮らし高齢者※105世帯

・チャリティーパットゴルフ大会：年2回開催（5/25、11/9）

場所：パットゴルフタニ

・防災研修会（7/30） 講師 八街市危機管理官 梅木知克氏

3年間の決算報告

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	1,628,053 円	1,953,824 円	1,749,253 円
支出	329,537 円	625,761 円	366,203 円
繰越金	1,298,516 円	1,328,063 円	1,383,050 円

【川上地区社協】

福祉委員：59名 役員：16名

委員会：年1回開催（4/27）

役員会：年1回開催（11/2）

広報紙：「かわかみ」発行中止

■実施事業

・友愛訪問：年1回 対象：75歳以上ひとり暮らし高齢者

・子育てサロン：年1回 ※参加申込みがなかったため中止

・視察研修（2/15）旭防災資料館、飯沼観音、圓福寺

・生活クラブ風の村なっつらぼの行事に参加（11/9、1/12）

3年間の決算報告

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	1,144,445 円	1,187,301 円	1,051,795 円
支出	319,903 円	474,487 円	334,383 円
繰越金	824,542 円	712,814 円	717,412 円

【八街北地区社協】

福祉委員：63名 役員：20名

委員会：年1回開催（4/6）

幹部会：年5回開催（4/27、6/15、9/28、11/16、1/25、3/15）

広報紙：「ささえ」第 37 号発行

■実施事業

・友愛訪問：年 1 回

対象：75 歳以上ひとり暮らし高齢者等※68 世帯

・子育てサロン：年 6 回開催（5/20、7/22、9/9、11/18、1/20、3/17）

・三区合同防災訓練：年 1 回（5/11）

・北小まつりに協力：年 1 回（12/7）

3 年間の決算報告

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
収入	607,782 円	829,413 円	872,082 円
支出	183,787 円	377,161 円	504,902 円
繰越金	423,995 円	452,252 円	367,180 円

（事業の課題及び展望）

大半の地区社協が担い手の確保を課題に挙げている。今後は、様々な分野で活動するボランティアグループや企業などとの連携を強化していくと、ともに、担い手確保につながる取り組みが必要である。

■地区社協会長会議の開催

（内容）

地域福祉の推進に関する調査、研究や地区社協相互の連絡調整、情報交換を行う場として会議を開催した。

（実施日及び実績等）

地区社協会長会議：年 2 回開催（5 月・3 月）

（事業の課題及び展望）

会長のみの負担に拠らない協議体としての運営を目指して、地域特性にあった多種多様な人からの参画を得られるような取り組みを図る。

■CSW の配置

（内容）

市民と専門機関の協働による地域福祉を推進することを目的に、各地区社協にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域づくりや困りごとを抱えた人の支援にあたった。

（実施日及び実績等）

地区社会福祉協議会委員会・幹部会、子育てサロン、高齢者サロン等への参加

市高齢者福祉課主催地域ケア会議に参加（年 10 回）

地区担当制の導入参照

(事業の課題及び展望)

C S Wを各地区社協に配置したが、会議やイベントに参加するのみで、C S Wとしての役割が機能していない。地区社協で周知不足で、地域住民の認知度が低いことが考えられる。

■地区担当制の導入

(内容)

各地区社協に担当職員を設置し、会議や事業などに参加しながら、顔の見える関係づくりや地区社協の状況や課題把握等を行った。また、地区社協福祉委員と課題共有をしながら、情報提供や事業の立上げ支援など、地区の状況に応じた支援を行った。

(実施日及び実績等)

地区社協名	担当職員	地区社協名	担当職員
八街東地区	柳橋 慶樹	朝陽地区	作佐部 実智代
実住地区	今井 菜津姫	交進地区	粕 義和
実住中央地区	塚越 俊輔	川上地区	尾形 淳五
六区地区	高橋 麻里子	八街北地区	志津 実優
二州地区	前田 佳誉		

(事業の課題及び展望)

担当職員の業務負担増、地域課題の複雑化に対応するための専門性不足、地域住民との連携強化が課題である。今後は、事務業務の効率化やITの活用により、担当職員が地域活動に集中できる環境作りや担当職員のスキルアップを図るための継続的な研修制度の整備が必要である。

③地区会活動関係

計画の推進状況：地区会の特性に応じて実施された納涼盆踊り大会や高齢者サロン、防災訓練などの福祉活動を支援することができた。また交流活動を通じて、地区内の住民同士が協力し合い、つながりを深め、地区会の活性化に貢献することができた。

○事業内容詳細及び課題

■地区会活動の支援

(内容)

地域間交流の促進を図り、支え合いのあるまちづくり活動を行う体制を整備することにより、地域社会におけるコミュニティの創出、住民による自主的な地域福祉活動の推進を図るため、地域福祉活動を行う地区会への支援として助成を行った。

(実施日及び実績等)

一区、二区、四区、五区、六区、大東、東吉田、朝日、みどり台、住野、真井原、沖、大谷流、砂、希望ヶ丘

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請地区	7地区	13地区	15地区
合計額	337,000円	644,000円	749,000円

(事業の課題及び展望)

区長業務の軽減を図るため、本会が主催する地区会長会議を廃止した。そのため、区長会の協議事項で本会の会費募集を依頼すると同時に、助成金制度の説明も行っているが理解が浅い。利用する地区会が少ない。

■地区会リーダーの養成

(内容)

地域福祉活動を担う方々がコミュニティソーシャルワークとは何かを理解することから始め、自分たちの住む地域の課題やニーズについて考え、課題に対して自分たちでできることを検討し、地域支援のプロセスについて学ぶ担い手養成講座を開催した。(主催：千葉県・千葉県社会福祉協議会)

(実施日及び実績等)

12月16日(月) 地域福祉の担い手養成講座 於 センター 大会議室
講師：淑徳大学 教授 菅野 道生 氏 参加者：33名

(事業の課題及び展望)

市総務部市民協働推進課で同様の研修等を実施しているので、今後は行政区を担当する同課と協働して開催できればと考える。

④ 善意銀行の運営

計画の推進状況：広く人々の善意の金員及び物品の預託を受け、福祉意識の醸成(育む)とともに、社会福祉事業を推進するため地域に広く還元された。

○事業内容詳細及び課題

■金品による預託

(内容)

市民から広く金品による寄付を受付ました。いただいた寄付は善意銀行に積立、お見舞い金や社会福祉事業に活用するものです。

(実施日及び実績等)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
199件 2,826,862円	220件 3,026,812円	187件 42,516,197円

（事業の課題及び展望）

令和 6 年度より善意銀行の寄付金及び積立額をより有効活用できるよう協議を重ねているが、令和 7 年度は規程の変更も含めて理事会・評議員会へ提案を検討していく。

■災害見舞い

（内容）

本会の会員が火災等の災害の際、半焼（半壊）・全焼（全壊）の状況によりお見舞金をお渡しした。

（実施日及び実績等）

お見舞い 2 件 20,000 円

（事業の課題及び展望）

迅速にお見舞い金をお渡しできるよう関係機関と連携する必要がある。

■行路病人等取り扱い

（内容）

交通費がなく困っている行路病人に対し、善意銀行から最大 300 円の交通費の貸付をした。

（実施日及び実績等）

0 件

（事業の課題及び展望）

利用する行路病人がいないため、今後事業の廃止も検討していく。

■物品の寄付

（内容）

市民から広く物品の寄付を受付、必要とする個人・事業所に払い出した。

（実施日及び実績等）

令和 5 年度	令和 6 年度
169 件	146 件

※令和 5 年度より件数表記

（事業の課題及び展望）

文房具、日用品、野菜、おむつなど数量も大量の場合もあり、社協としてのコーディネーターの力が必要とされる。今後は SDGs の推進と利活用、災害時のコーディネート力も含めて検討・協議していく必要がある。

■フードバンクちば事業への協力

（内容）

生活困窮者支援並びにフードロス対策の一環として、様々な理由で家庭や企業で余った食品を引き取り、必要とする方へ提供した。

(実施日及び実績等)

第 36 回 フードドライブ 寄贈量 31.3 kg

第 37 回 フードドライブ 寄贈量 107 kg

第 38 回 フードドライブ 寄贈量 22.2 kg

生活困窮者に対する食料支援回数 90 回

(事業の課題及び展望)

事業の周知を徹底し、必要とする世帯に対し、過不足なく食料支援が行えるよう食料品を確保する。

■初穂会とのフードバンク事業の連携

(内容)

社会福祉法人初穂会が行う「フードバンクこひつじ園」と連携し、生活困窮者等への食料支援に活用する食品を確保する。

(実施日及び実績等)

食料品の提供を年 6 回受ける。

(事業の課題及び展望)

食料支援を継続するために、必要に応じて要請を行い、生活困窮者等に提供する食品を確保する。

⑤ 自主財源の確保

計画の推進状況：地域福祉を推進するためには自主財源は欠かすことのできないものであり、ひと・モノ・コト・カネがバランスよく連動していく必要がある。そのため社会福祉協議会では、ただ資金集めをするだけではなく、福祉意識の醸成（育む）を含めたチャリティー活動やイベント、募金活動など幅広く事業を行った。

○事業内容詳細及び課題

■会員の状況

(内容)

会員は社会福祉協議会の趣旨に賛同した個人・団体及び法人とし、一般会費 1 世帯 500 円、特別会費 1 口 1,000 円、賛助会費 1 口 1,000 円で会費の納入をもって会員とする。

(実施日及び実績等)

- ・一般会費 6 月末日を目安に募集
- ・特別会費 1 月に各団体及び法人等へ依頼
- ・賛助会費 9 月末日を目安に募集し、6 割が地区社協の財源となっている。

・一般会費

令和4年度	令和5年度	令和6年度
10,054件 5,527,300円	10,788件 5,394,100円	10,257件 5,128,518円

・特別会費

令和4年度	令和5年度	令和6年度
12件 113,000円	12件 113,000円	11件 103円

・賛助会費

令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,580件 3,626,500円	1,461件 3,468,000円	1,421件 3,205,129円

■第35回福祉まっりの開催

(内容)

市民から提供いただいたバザー品、手作り品の販売やカラオケ・舞踊大会、市内飲食店における模擬店を開催。収益金は、地域福祉推進事業費として活用した。

(実施日及び実績等)

実行委員会：3回開催 出店団体事前打合せ：1回開催

【第35回福祉まつり】

令和7年2月9日(日) 午前9時30分～午後3時30分

於：市中央公民館 来場者：約2,300名 収益金：491,276円

回	第33回	第34回	第35回
来場者	中止	約1,200名	約2,300名
収益金	中止	473,561円	491,276円

(事業の課題及び展望)

福祉まつりは、地域住民やボランティアが交流し、福祉について理解を深める場として、非常に重要な役割を担っているため、より魅力的なものにするためには、多様な主体が協力できる体制の構築が求められる。

■第18回ふくしチャリティーゴルフ大会の開催

(内容)

参加者の相互親睦を深め、市内における地域福祉活動のさらなる充実を図ることを目的に開催し、チャリティー寄金はボランティア活動や在宅福祉サービスを応援するために活用した。

(実施日及び実績等)

実行委員会：2回開催 役員会：1回開催 反省会：1回開催

【第18回ふくしチャリティーゴルフ大会】

9月27日(金) 午前7時から 於：東千葉カントリークラブ(東・西コース)

参加者：175名 チャリティー寄金：342,515円

〈優勝〉

(敬称略)

西コース OUT	安藤 伸広	東コース OUT	江面 光男
西コース IN	萬来 謙一	東コース IN	奈良 清蔵

3 年間の実績

回	第 16 回	第 17 回	第 18 回
参加者	217 名	211 名	175 名
チャリティー寄金	394,753 円	399,677 円	342,515 円

(事業の課題及び展望)

今後も参加者にとって楽しい思い出になる大会を企画・運営を行う。

■第 15 回ふくしチャリティーボウリング大会の開催

(内容)

福祉関係者の相互親睦並びにチャリティー協力への呼びかけを目的に開催した。

(実施日及び実績等)

【第 15 回ふくしチャリティーボウリング大会】

6 月 29 日 (土) 午前 9 時 45 分～正午 於：八街ヤングボウル

参加者：72 名 チャリティー寄金：43,810 円

〈優勝〉 交進地区社会福祉協議会チーム

3 年間の実績

回	第 13 回	第 14 回	第 15 回
参加者	44 名	80 名	72 名
チャリティー寄金	27,316 円	36,255 円	43,810 円

(事業の課題及び展望)

参加者募集の周知方法等を検討する。

■第 4 回ふくしチャリティーグラウンドゴルフ大会の開催

(内容)

シニアの健康増進と交流を活発にするため、八街市グラウンドゴルフ協会と八街市シニアクラブ連合会と共催で開催し、チャリティー寄金は、地域福祉推進のために活用した。協賛：株式会社ユース

(実施日及び実績等)

【第 4 回ふくしチャリティーグラウンドゴルフ大会】

7 月 9 日 (火) 午前 9 時から 於：八街市スポーツプラザ

受付：108 名 チャリティー寄金：23,671 円

〈優勝〉

(敬称略)

男性	和友会 伊藤 幸次	女性	同好会 小川 淳子
----	-----------	----	-----------

3 年間の実績

回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
参加者	98 名	98 名	108 名
チャリティー寄金	8,496 円	19,300 円	23,671 円

(事業の課題及び展望)

ホームページによるグラウンドゴルフの魅力の発信やチラシ、ポスター等の作成・配布を行い、参加者募集の強化を図る。

■第 6 回ふくしチャリティーパークゴルフ大会の開催

(内容)

市民の健康・体力づくり、さらには参加者の交流を深めることを目的に、実行委員会を立ち上げ、八街市パークゴルフ協会と八街市シニアクラブ連合会と共催で開催し、チャリティー寄金は、地域福祉推進のために活用した。

(実施日及び実績等)

【第 6 回ふくしチャリティーパークゴルフ大会】

12 月 12 日 (木) 午前 8 時 45 分から 於：佐倉グリーンパーク

参加者：69 名 チャリティー寄金：12,292 円

〈優勝〉

(敬称略)

男性	五十嵐 邦男	女性	工藤 弘子
----	--------	----	-------

3 年間の実績

回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
参加者	60 名	64 名	72 名
チャリティー寄金	13,244 円	15,450 円	12,292 円

(事業の課題及び展望)

ホームページによるパークゴルフの魅力の発信やチラシ、ポスター等の作成・配布を行い、参加者募集の強化を図る。

■使用済み切手・書き損じ葉書などの収集活動

(内容)

寄せられた使用済み切手や使用済みプリペイドカードは、ボランティアの方が整理した後、切手収集家に売却した。書き損じハガキはすべて、日本ユネスコ協会連盟へ寄付し、世界寺子屋運動に活用された。

(実施日及び実績等)

〈設置協力店等〉カスミ (株) 八街店、市役所各課、市中央公民館等

使用済み切手：6.4 kg 古銭：多数 書き損じはがき：145 枚

換金：6,700 円

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
換金額	8,470 円	6,530 円	6,700 円

（事業の課題及び展望）

通信手段の多様化により、明らかに使用済み切手の回収量は低下していることやスマートフォンの利用により使用済みプリペイドカードの回収量もていかしているため、単年での換金が困難になりつつある。

■愛の箱募金箱の設置拡大

（内容）

愛の箱募金箱を市内商店等の協力を得て設置し、募金にご協力いただいた。また、募金は設置している地域の地区社協に活動費として活用した。

（実施日及び実績等）

（敬称略）

地区社協	募金金額	設置店数
八街東地区	5,486 円	4 店舗
実住地区	67,445 円	17 店舗
実住中央地区	125,132 円	13 店舗
六区地区	23,298 円	4 店舗
二州地区	7,615 円	6 店舗
朝陽地区	49,874 円	10 店舗
交進地区	13,586 円	8 店舗
川上地区	29,117 円	7 店舗
八街北地区	11,658 円	6 店舗
合計	333,211 円	75 店舗

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
募金額	351,201 円	381,928 円	333,211 円

（事業の課題及び展望）

決済方法も多様化によりキャッシュレス化が進み募金額の減少が考えられるため、QR コードを利用した募金ができるシステムがあると望ましい。

■社会福祉貢献企業との協働事業の実施

（内容）

社会福祉協議会は社会貢献企業（CSR）との協働により、地域福祉の推進及び事業を積極的に展開した。

（実施日及び実績等）

※主な協働事例

- ・フードバンク、フードパントリー事業への企業からの協賛
- ・サイシン広告との「わたしの整理帳」の発行
- ・ホームページや広報へのバナー広告、協賛広告の募集

- ・地区社協の防災訓練へのブース出展
- ・生活困窮者自立支援事業の協働による就労支援
- ・ボランティア活動への企業の人的支援

(事業の課題及び展望)

財政状況が厳しいなか、企業との協働事業は必要不可欠である。そのためには社協職員がコーディネーターとしてウィンウィンな関係性の構築や、情報発信が課題となり、それらを踏まえた今後の展開が求められる。

■区長等回覧文書配送業務の受託

(内容)

区長宛文書を原則第2・4水曜日に、ボランティアに協力いただき3コースに分かれて配送を行った。また、配送前日に回覧文書等を梱包し、各コースに仕分けを行った。

(実施日及び実績等)

年間21回実施

(事業の課題及び展望)

回覧発送準備には、最低でも2名の職員が必要で、回覧物の種類が多い時には梱包作業だけで2時間も費やすこともある。さらに回覧物の配送には、現在、正職、臨時職員の2名が携わっていて、2～3時間もの時間を費やさなければならない。他の業務に支障をきたす場合もあるため、ボランティアの協力が急務である。

■総合保健福祉センター内売店の運営及びピーちゃんナッツちゃんグッズの販売

(内容)

本会の収益事業、自主財源の確保のため、ピーちゃんナッツちゃんグッズをはじめ、宮城県産缶詰（東日本大震災から続く復興支援の取り組み）などを販売した。

(実施日及び実績等)

令和5年度	令和6年度
1,927,150 円	1,558,060 円

※令和5年度から集計

(事業の課題及び展望)

収益事業は課税対象となるものの、売上は社会福祉事業に充当し、特に八街市のPRと地域福祉の還元につながることを啓発し事業拡大をねらっていきたい。

■郵便切手等委託販売事業の実施

(内容)

市民が市役所で郵便切手や収入印紙が購入できることにより、利便性の向上につながり自主財源が確保できるため販売事業を実施する。

(実施日及び実績等)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上	10,374,317 円	13,835,027 円	13,840,340 円
手数料収入	566,327 円	616,265 円	618,863 円

(事業の課題及び展望)

市民のニーズが高いため事業を継続していく必要があるが、在庫管理の徹底が課題であり、業務効率を上げていく必要がある。

■ファンドレイザーの養成

(内容)

社協の財源が厳しい中、会費や募金は年々減少しこのままでは地域福祉を推進する財源を確保することが困難な状況のため、自主財源を上手に集める・作る・活用する手法として「ファンドレイザー」を養成する。

(実施日及び実績等)

・研修会への参加 6月4日(火) ZOOM

主催 一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク
COMMNET

テーマ 福祉組織における内部理解

講師 伊賀市社協 ファンドレイジング・マネージャー 一見 俊介氏
一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET
理事長 久津摩 和弘氏

(事業の課題及び展望)

現在は有料の研修会が多く、認定ファンドレイザーを取得するにはかなりの予算を必要とするため、法人内部の研修を今後検討していきたい。

⑥ 身元不明者供養事業

計画の推進状況：身寄りのない物故者の供養は、社会的に孤立しがちな方々への地域支援の一環として行政と社協が一体となって推進を図った。

○事業内容詳細及び課題

■身元不明者物故者の納骨と供養を行う

(内容)

身元不明の物故者の遺骨を、本会が所有する京葉霊園の墓地に埋葬し、供養を行った。

(実施日及び実績等)

35 遺骨

(事業の課題及び展望)

生前の本人の希望が不明であるため、寺院や葬儀社との連携を深め、身元不明者の遺骨の供養に関する情報を共有する。

⑦ 母子・父子福祉事業

計画の推進状況：計画の基本目標《しくみ》である誰もが尊重され、暮らし続けられるまちづくりを推進するため、交通遺児等援護激励事業を行った。

○事業内容詳細及び課題

■交通遺児家庭激励見舞事業

(内容)

市内に在住する交通遺児等で、陸上交通事故及び本会会長が特に認めた事故により父または母を失った 18 歳未満の遺児及び、18 歳未満の遺児のいる世帯世帯に交付します。また、千葉県社協が実施する同事業と連携し、対象世帯に奨励金・激励金等を民生委員を通じて交付します。

(実施日及び実績等)

年度	実績
令和 4 年度	千葉県社協より 勉学奨励金 1 名 60,000 円 勉学激励金 1 名 18,000 円
令和 5 年度	千葉県社協より 勉学激励金 4 名 240,000 円 受験費用助成金 3 名 60,000 円
令和 6 年度	市社協より 見舞金 1 名 30,000 円 県社協より 見舞金 1 名 150,000 円 激励金 1 名 60,000 円 受験費用助成金 1 名 22,200 円

(事業の課題及び展望)

対象世帯にもれがないよう教育委員会などと連携し受付していく。

⑧ 高齢者福祉事業

計画の推進状況：計画の少子化・高齢化等で生じる課題の発見と共有のなかで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりのため各種事業に取り組みました。

○事業内容詳細及び課題

■結婚 50 周年記念事業（金婚式）の実施

（内容）

結婚 50 周年を迎えられたご夫婦へ、おふたりの記念写真を写真立てにおさめ、記念品として贈呈した。

（実施日及び実績等）

申込者：49 組

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
申込者	57 組	55 組	49 組

（事業の課題及び展望）

申込希望者への周知方法の検討

■満百歳祝

（内容）

ご長寿を祝し、市と合同で市内在住の満百歳のお宅に激励訪問し、お祝い金 10,000 円を贈呈した。

（実施日及び実績等）

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象者	13 人	17 人	16 人

（事業の課題及び展望）

現在市にあわせて実施しているが市が事業を廃止した場合は十分な協議が必要と考える。

■あんしん箱設置事業の推進

（内容）

八街市地域支え合い体制づくり事業補助金を活用し、ひとり暮らし高齢者世帯・高齢者夫婦世帯を対象に、災害時や入院の際、身の回りの日用品を収納する「あんしん箱」を、民生委員を通じ設置した。

（実施日及び実績等）

ひとり暮らし高齢者世帯	536 個
高齢者夫婦世帯	460 個
その他世帯	6 個
民生委員が必要と認めた世帯	106 個
計	1,108 個

※上記数値は累計配布数を記載している

（事業の課題及び展望）

あんしん箱普及のために、民生委員に周知し、更なる利用促進を目指したい。

■ひとり暮らし高齢者等傾聴ボランティアの訪問活動の充実

(内容)

ひとり暮らし等高齢者訪問事業を八街市から委託し、民生委員児童委員を通じてひとり暮らし等高齢者宅を、「傾聴ボランティアクローバーの会」が訪問し、話し相手となり孤立感・不安感の軽減を図った。

(実施日及び実績等)

利用世帯：26 世帯 訪問件数：172 件

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用世帯	16 世帯	21 世帯	26 世帯
訪問件数	70 件	131 件	172 件

(事業の課題及び展望)

利用者及び協力者の増員を目指す。

■シニアクラブ連合会との連携強化

指定管理施設の受託により市シニアクラブ連合会との連携を密にしている。

■高齢者見守りネットワーク事業へ

市が構築するネットワークに参画し、高齢者の見守りに寄与している。

■RUN 伴 2024 i n 八街への協力

(内容)

認知症であっても安心して暮らせるまちづくりをめざしているこの取り組みに協力した。また令和 6 年度は昨年引き続き、やちまたふくしフェスタと合同で開催した。

(実施日及び実績等)

9 月 28 日 (土) 八街市中央公民館 参加者 39 名

認知症フレンドシップクラブへの寄付 3,000 円

・事業の内容 テーマ 「ピンクのタスキ つながるオレンジの輪」

1. RUN 伴オリジナルソング合唱
2. 参加者記念撮影
3. RUN イベント
4. オレンジカフェの運営&認知症プチ講座

(事業の課題及び展望)

社会福祉協議会は主催ではなく後援のため、今後も認知症啓発のイベントへ協力していきたい。

⑨ 児童福祉事業

計画の推進状況：多様な居場所づくりや協働で取り組む福祉の推進を図るために、下記事業に取り組んだ。また、横のつながり（ネットワーク）の構築も強化す、包摂的な取り組みの推進に寄与した。

○事業内容詳細及び課題

■小学校新入学児童お祝い事業

（内容）

児童の健やかなる成長を願い、共同募金配分金で小学校入学児童に「家庭で読み聞かせできる児童向け図書」を八街市教育委員会、八街市立図書館、ボランティアグループ「わらべ会」のご協力をいただき、6種類の対象図書の中から好みの1冊を家庭で選んでいただき、小学校を通じて各自に贈呈した。

（実施日及び実績等）

小学校入学児童：341名

3年間の実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象児童	375名	365名	341名

（事業の課題及び展望）

子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、入学してすぐに使える文房具セットの贈呈を検討する。

■子育て支援事業への助成

（内容）

地域で子育てサロンを実施する団体等に対し、その活動に要する経費の一部を予算の範囲内で助成することにより、サロン活動を促進し、子育て親子の福祉の向上を図った。

（実施日及び実績等）

団体名	助成金額	団体名	助成金額
八街北地区社協	50,000円	子供会育成会書初め展	20,000円
		合計	70,000円

3年間の実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成団体数	-	2団体	2団体
合計額	-	70,000円	70,000円

(事業の課題及び展望)

より多くの保護者や子どもたちが子育てサロンに参加できるよう、広報活動やイベントの充実が必要である。

■子どもの居場所ネットワーク協議会の運営

(内容)

第1次地域福祉活動計画の推進の一貫で発足したネットワーク。現在の加入団体は31団体。令和6年度は第3次地域福祉活動計画の推進の一貫として「こどもまんなかシンポジウム」を開催。

※第3次八街ひまわりふれあいプランの推進に記載

■フードパントリーやちまたの開催

(内容)

物価の高騰や経済的な事情により生活にお困りの子育て世帯へ、寄付された食品などを児童館ひまわりの家で無料配布した。

(実施日及び実績等)

回数	日時	当日世帯数
第16回	4月13日(土)	100世帯
第17回	6月8日(土)	100世帯
第18回	8月10日(土)	96世帯
第19回	10月13日(日)	94世帯
第20回	12月14日(土)	97世帯
第21回	2月15日(土)	100世帯

※第19回のみ 南部老人憩いの家にて実施

(事業の課題及び展望)

本事業のニーズは高く、上限である100世帯以上の申込がある。

本事業の趣旨に合致した利用者を抽出する仕組みを検討することもあると思われる。

■学習支援教室「ひまわり」の実施

(内容)

生活困窮者自立支援事業における「子どもの学習・生活支援事業」を本会においては学習支援教室「ひまわり」と呼称し、小・中学生に対し、学習の機会を提供した。

(実施日及び実績等)

年間利用者：3名(内訳：小学4年・5年・6年 各1名)

年間利用回数：73回

(事業の課題及び展望)

利用者並びに対応するボランティアの確保が急務であること。

事業利用に際しては、保護者等の送迎が必要であること。

■～「食」でつながる八街こどもプロジェクト～『みらい』の運営

(内容)

市内のフードパントリーや子ども食堂の実施団体の横のつながりを図るため、ネットワーク会議を開催した。

(実施日及び実績等)

奇数月第3水曜日実施 年6回開催

千葉県子ども食堂連絡会に参画する

(事業の課題及び展望)

情報共有を中心とした会議体であるが、本ネットワークが千葉県子ども食堂連絡会との繋がり続けるうえで、より、子ども食堂に特化したネットワークに編成する必要がある。

⑩ 障がい者福祉事業

計画の推進状況：福祉意識の醸成（育む）のため、障がいのあるなしに関わらず、地域の多様性への理解を図り、さらにはネットワークの構築・強化、多様な居場所づくりの充実を目指し下記事業を行った。

○事業内容詳細及び課題

■障がい者団体への助成

(内容)

市内にある障がい者団体6団体へ助成金を交付した。

(実施日及び実績等)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成団体数	7団体	7団体	6団体
合計額	180,000	180,000	115,000円

(事業の課題及び展望)

会員数、事業内容に応じて助成金を交付しているが、財源を確保することが課題に上げられるため安定的に各団体へ助成できるような仕組みを検討する必要がある。

■障がい者団体連絡協議会の運営

(内容)

障がい者団体相互の親睦を深め、障がい福祉に対する啓発を図ることを目的に会議を運営した。

(実施日及び実績等)

年4回開催

年1回勉強会を実施

内容：手話勉強会 講師：八街市聴覚障がい者協会 門澤 実 氏

（事業の課題及び展望）

各団体会員の高齢化並びに会員の減少。対応策を協議会として検討していく必要がある。

■地域自立支援協議会への参画

（内容）

障がいがある人もない人も共に暮らしやすい地域共生社会の実現のため、八街市で誰もが安心して暮らすことができるよう地域自立支援協議会へ参画した。

（実施日及び実績等）

- ・地域自立支援協議会顧問 石毛会長が就任
- ・地域自立支援協議会会長 児童館館長が就任
- ・地域自立支援協議会副会長 総務課長が就任
- ・全体会をはじめ、各部会、執行委員会、事務局会議に年間を通じて参加。
- ・ふくしフェスタ 2024 に後援し、出店をはじめ多くの職員が協力した。

（事業の課題及び展望）

会議や研修、行事が多くスケジュールの調整に課題があるものの、今後も継続して地域自立支援協議会に参画していく予定である。

■里見紗李奈選手を応援する会事務局の運営

（内容）

パリ 2024 パラリンピックでシングルスで金メダル、ダブルスで銀メダルを受賞した本市出身の里見紗李奈選手を応援するため会を運営した。

（実施日及び実績等）

- ・第 1 回会議 7 月 26 日（金）
- ・社協窓口正面に新聞等記事を掲示
- ・ヒューリックダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会 2024 応援
10 月 27 日（日） 国立代々木競技場第一体育館 石毛会長、狛
シングルス・ダブルス優勝

（事業の課題及び展望）

里見紗李奈選手の講演会を実施したいものの、予算、日程調整、コンプライアンスなどのハードルが高いのが実情である。

⑪ 共同募金関係

計画の推進状況：地域福祉活動計画全体の推進に欠かすことのできない共同募金活動は、福祉意識の醸成のもとに成り立ち、配分金は地域福祉を推進する原資となっており、令和 6 年度も下記のとおり事業実施した。

○事業内容詳細及び課題

■赤い羽根共同募金運動への協力

(内容)

共同募金による配分金は、社協の大きな自主財源となるもので、その実績が事業活動に大きな影響を与える。このようなことから、本年度も募金活動をすすめた。

福祉教育の推進とボランティア活動の促進を図るため、小中学校による街頭募金の参加者を募り市内スーパー・大型量販店等の協力を得て実施した。

(実施日及び実績等)

【赤い羽根共同募金結果報告】※単位：円

内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個別募金	5,097,637	4,410,556	4,246,369
街頭募金	141,444	162,155	189,472
法人募金	10,000	0	12,508
学校募金	122,800	87,286	103,842
職域募金	375,523	284,881	312,891
イベント募金	43,826	78,793	112,389
個人募金	158,600	17,200	8,300
その他の募金	127,205	141,250	417,103
合 計	6,077,035	5,182,121	5,402,874
使いみち	R4 配分金	R5 配分金	R6 配分金
高齢者福祉事業 ・シニアクラブ連合会への助成 ・結婚50周年記念撮影 ・高齢者福祉推進費	560,000	560,000	360,000
障がい者福祉事業費 ・障がい者団体連絡協議会運営費 ・障がい者団体助成金	210,000	220,000	165,000
福祉育成・援助活動費 ・福祉団体助成	1900,000	190,000	190,000
ボランティア活動促進事業費 ・ボランティア活動費 ・ボランティア活動推進費 ・ボランティア講座 ・ボランティアセンター運営	823,000	820,000	465,000
児童福祉事業費 ・子育て支援助成金	1,056,000	1,164,000	1,050,000

・福祉教育推進校助成金 ・子ども会育成会連協書初め展 後援金 ・小学校新入学祝品 ・気になる子どもの個別相談			
心配ごと相談事業費 ・相談員、運営委員実費弁償費	100,000	100,000	100,000
広報・啓発事業費 ・会報ふくしやちまた発行費 ・ホームページ管理運営費 ・標語・ポスター募集事業経費	1,278,000	1,200,000	1,297,300
合 計	4,217,000	4,254,000	3,627,000

【赤い羽根共同募金街頭募金結果】

実施回数：延べ 16 回

協力学校：11 校（実住小学校、笹引小学校、朝陽小学校、二州小学校、川上小学校、八街東小学校、八街北小学校、八街中学校、八街中央中学校、八街南中学校、八街北中学校）

協力児童・生徒：延べ 87 名

会場：10 カ所（トウズ八街店、タイヨー八街店、カスミ八街店、ランドローム八街店、ランドローム東吉田店、カインズホーム八街店、ベイシア八街店、八街市役所玄関前、二州小学校、八街東小学校）

募金額総計：186,610 円

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数	延べ 8 回	延べ 13 回	延べ 16 回
協力学校	7 校	9 校	11 校
協力児童・生徒	延べ 40 名	延べ 86 名	延べ 87 名
会場	5 カ所	9 カ所	10 カ所
募金額総計	141,444 円	162,155 円	186,610 円

（事業の課題及び展望）

経済状況の変化など、社会情勢の影響で募金金額が減少傾向にあるため、街頭だけでなく、企業や学校などとの連携、イベントとのコラボレーションなど、活動の場を広げる。

■歳末たすけあい募金募集・配分

(内容)

「歳末たすけあい募金運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係機関や団体の協力により、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことのできるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に行った。

福祉教育の推進とボランティア活動の促進を図るため、小中学校による街頭募金の参加者を募り市内スーパー・大型量販店等の協力を得て実施した。

(実施日及び実績等)

【歳末たすけあい募金結果】

・収入の部 単位：円

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳末たすけあい募金	2,797,510	2,639,133	2,612,810
前年度繰越金	11,810	29,397	86,926
合計	2,809,320	2,668,530	2,699,736

・支出の部 単位：円

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
非常食	1,350件 1,312,200	1,260件 1,276,000	1,250件 1,133,750
施設等	0	21件 711,500	21件 639,510
事務費	117,723	216,099	124,791
小計	1,429,923	2,203,604	1,898,051
地区社協	1,350,000	378,000	801,685
繰越金	29,397	86,926	0
合計	2,809,320	2,668,530	2,699,736

【歳末たすけあい募金街頭募金結果】

実施回数：延べ10回

協力学校：7校（実住小学校、朝陽小学校、交進小学校、八街北小学校、八街中学校、八街南中学校、八街北中学校）

協力児童・生徒：延べ57名

会場：7カ所（トウズ八街店、タイヨー八街店、カスミ八街店、ランドローム八街店、ランドローム東吉田店、カインズホーム八街店、ベイシア八街店、八街市役所玄関前、二州小学校、八街東小学校）

募金額総計：163,885円

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施回数	延べ 6 回	延べ 10 回	延べ 10 回
協力学校	6 校	7 校	7 校
協力児童・生徒	延べ 30 名	延べ 33 名	延べ 57 名
会場	5 カ所	6 カ所	7 カ所
募金額総計	99,510 円	131,739 円	163,885 円

(事業の課題及び展望)

経済状況の変化など、社会情勢の影響で募金金額が減少傾向にあるため、街頭だけでなく、企業や学校などとの連携、イベントとのコラボレーションなど、活動の場を広げる。

■災害見舞金の募集・配分

(内容)

市民が火災等の災害の際、半焼（半壊）・全焼（全壊）の状況によりお見舞金をそれぞれお渡しした。

(実施日及び実績等)

千葉県共同募金会お見舞い 4 件 40,000 円

(事業の課題及び展望)

迅速にお見舞い金をお渡しできるよう関係機関と連携する必要がある。

■第 15 回共同募金杯チャリティーボウリング大会の開催

(内容)

福祉関係者の相互親睦並びにチャリティー協力への呼びかけを目的に開催した。

(実施日及び実績等)

【第 15 回共同募金杯チャリティーボウリング大会】

11 月 30 日（土）午前 9 時 45 分～正午 於：八街ヤングボウル

参加者：72 名 チャリティー寄金：51,825 円

〈優勝〉 交進地区社会福祉協議会チーム

3 年間の実績

回	第 13 回	第 14 回	第 15 回
参加者	80 名	80 名	72 名
チャリティー寄金	42,291 円	43,095 円	51,825 円

(事業の課題及び展望)

参加者募集の周知方法等を検討する。

⑫ 災害・防災関係事業

計画の推進状況：いつどこで発生するかわからない災害に備えて、平時から行政と地域が一緒になって防災訓練や勉強会を開催するなど自助・共助・公助で支える防災の推進を図った。

○事業内容詳細及び課題

■県社協との災害時の相互支援に関する協定の締結

(内容)

千葉県内の社会福祉協議会が協力・連携して、災害ボランティアセンターの運営をはじめとした地域復興に努めるため、災害時の相互支援に関する協定を締結。

(実施日及び実績等)

6月27日～7月3日

能登半島地震に伴う災害ボランティアセンター運営支援

於 石川県輪島市 参加者1名

(事業の課題及び展望)

広域で活動する支援団体と日常的にコネクションを築くことが難しいため、日ごろから、県社協と情報共有や研修・交流を行っていく。

■東京都八街学園との災害時相互応援協定の締結

(内容)

災害発生時、被災団体では十分に被災者の援助等が実施できない場合に本会と東京都八街学園が相互に協力して、それぞれの機能を最大限に発揮し、応援活動等を実施するとともに、被害を最小限に防止するために協定を平成19年3月28日に締結。

(実施日及び実績等)

実施活動なし

(事業の課題及び展望)

現在、東京都八街学園との防災訓練が実施できていないが、災害発生時に迅速かつ円滑に活動できるように、平時から顔の見える関係を深める。

■市との災害ボランティアセンターの設置などに関する協定書の締結

(内容)

災害時における効果的なボランティア活動を推進するため、八街市地域防災計画に基づき、災害ボランティアセンターの設置及び運営等に関し協定を平成27年12月28日に締結。

(実施日及び実績等)

未設置

（事業の課題及び展望）

災害発生後、早期に災害ボランティアセンターを設置し、被災者への支援を迅速に行う必要があるため、平時から行政と社協が相互に研修制度や情報提供などを通じて、災害ボランティアの知識や技術を向上させる。

■（公社）佐倉青年会議所との災害時相互応援協定の締結

（内容）

災害が発生し、被災者及び被災地支援が必要な場合において、被災地の状況とニーズを迅速かつ的確に把握し、効率的または効果的な支援活動を行うため、相互に協力することを目的に協定を令和３年９月１２日に締結。

（実施日及び実績等）

８月２３日（金）午後７時から 佐倉青年会議所 2024 年度 8 月例会防災事業
於 佐倉商工会議所 参加者 2 名
2 月 4 日（火）午後２時から 佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議
於 佐倉市社会福祉センター 参加者 2 名
3 月 8 日（土）午後１時から 佐倉市災害ボランティアセンター運営訓練
於 佐倉市社会福祉センター 参加者 1 名

（事業の課題及び展望）

佐倉青年会議所と２市１町（佐倉市・八街市・酒々井町）の社協が災害時相互応援協定をそれぞれ締結したので、これを機に合同の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施を検討していきたい。

■災害ボランティアセンター連絡会の設立

（内容）

各団体の主体性を尊重しつつ、加盟団体が相互に連携して効果的な活動ができるよう、日頃から情報交換、防災訓練、研修等を行い顔の見える関係を築き、災害支援活動を円滑かつ効果的に推進することを目的として設立を計画したが未実施。

（実施日及び実績等）

未実施

（事業の課題及び展望）

平時から各種団体と情報交換と協力関係を築き、顔の見える関係づくりを行い、災害支援活動を円滑かつ効果的に推進するために、令和７年度に災害ボランティアセンター連絡会の設立を行う。

■災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

（内容）

災害ボランティアセンターの運営については、職員が中心となりながらも、ボランティアの応援も欠かせないため、職員のスキルアップ並びに災害ボラ

ンティアセンターを支援できるボランティアの育成の場として立ち上げ訓練を実施している。

（実施日及び実績等）

未実施

（事業の課題及び展望）

災害ボランティアセンターの運営に係る ICT の導入がされたので、すべての職員がシステムを操作できるように日ごろから訓練を行う。

■災害救援基金の設置及び災害備品の整理

（内容）

平成 9 年度から平成 14 年度まで開催した福祉まっりの収益金で災害救援基金を設置。赤い羽根共同募金並びに日本赤十字社の剰余金で災害備品の整備を行った。また、平時から災害対策の一環として、防災備蓄品の整理や保管を行い、災害発生時に、これらの備蓄品を迅速かつ適切に活用し、被災者のニーズに応じた支援を行うために、定期的な点検や更新を行った。

（実施日及び実績等）

災害対策備蓄品保管状況

品名	数	品名	数	品名	数
ヘルメット	62 個	サバイバルブランケット	8 枚	発電機	3 台
コードリール	6 台	シュラフ	8 個	ハロゲン投光器	1 式
ハンディーキャンパー	1 台	ワンタッチテント	2 張	テント	7 張
ツルハシ	1 本	ウルトラホーキ	5 本	一輪車（深型）	1 台
一輪車（浅型）	1 台	スコップ剣	5 本	ノコギリ	25 本
油圧ジャッキ	1 台	竹熊手	6 本	てみ	4 個
スチールバケツ	10 個	バール	32 本	バール大	2 本
高圧洗浄機	1 台	スコップ角	5 本	ハンマー	5 本
防水型充電ラジオ	3 台	テーブル	2 台	非常炊き出し用炊飯器	2 台
担架	2 台	パタット担架	5 台	ランタン付ラジオ	1 台
トランシーバー	15 台	小型タイピンマイク	15 台	扇風機	4 台
金切りばさみ	20 本	農業用パイプ抜き	5 本	トラック荷台幌	2 枚
グラインダー	3 台	マイナスドライバー	13 本	プライヤー	9 本
ソケットレンチセット	5 個	エンジンチェーンソー	5 台	充電式チェーンソー	2 台
電動ドリル	1 台	ドリルセット	1 台	ビットソケットセット	1 台
レシプソー	1 台	ワークライト	2 台	リチウムイオンバッテリー	4 個
急速充電器	2 台				

(事業の課題及び展望)

災害時に必要な備品は必ずリストに整理し、計画的に備蓄する。また、備品によっては、使用期限があるため定期的買い替えるなどのメンテナンスを実施する。

■歳末たすけあい運動による減災事業の推進※共同募金関係に記載

⑬ 日本赤十字社千葉県支部八街市地区業務の受託

計画の推進状況：安全安心な地域づくりをめざし、自助・共助・公助で支える防災を推進するため、日本赤十字社千葉県支部八街市地区業務を受託した。

○事業内容詳細及び課題

■会員増強・会費募集

(内容)

日本赤十字社千葉県支部八街市地区業務・八街市赤十字奉仕団関係業務委託契約に係る事業を実施した。

(実施日及び実績等)

・赤十字社資募集実績

令和4年度	一般会員	寄付金	法人社資	合計
	会費			
会員	11,344 件	0 件	288 件	11,632 件
社資額	6,185,154 円	0 円	641,500 円	6,826,654 円
令和5年度	一般会員	寄付金	法人社資	合計
	会費			
会員	10,360 件	0 件	289 件	10,649 件
社資額	5,611,283 円	0 円	669,500 円	6,280,783 円
令和6年度	一般会員	寄付金	法人社資	合計
	会費			
会員	9,936 件	0 件	294 件	10,230 件
社資額	5,444,920 円	0 円	681,500 円	6,126,420 円

・八街市赤十字奉仕団事業会議研修等報告

月	日	事業内容
4 月	17	第1回八街市赤十字奉仕団役員会
	26	地域奉仕団第1回市区町村委員長会議
	27	献血実施

5 月	13	献血実施
	14	八街市赤十字奉仕団総会
	30	赤十字奉仕団県外移動研修
6 月	21	印旛地域赤十字連絡協議会研修会
	26	地域奉仕団指導技術等研修会
7 月	3	第 2 回八街市赤十字奉仕団役員会
8 月	9	リーダーフォローアップ研修
	23	献血実施
9 月	5	一日赤十字
	10	赤十字施設奉仕活動
	17	赤十字施設奉仕活動
	24	赤十字施設奉仕活動
10 月	3	救急法フェスタ 2024
	10	地域奉仕団第 2 回市区町村委員長会議
11 月	17	献血実施協力（産業まつり）
	19	レッドクロスボランティアスクール
	30	日本赤十字社第二ブロック支部総合訓練
12 月	NHK 歳末たすけあい募金に協力	
	4	第 3 回八街市赤十字奉仕団役員会
	14	赤十字のつどい東部ブロック大会
	23	献血実施
1 月	21	防災訓練事前打ち合わせ
2 月	12	第 4 回八街市赤十字奉仕団役員会
	15	八街市総合防災訓練準備
	16	八街市総合防災訓練
	17	献血実施/八街市献血推進協議会会議
	26	印旛地域赤十字連絡協議会研修会
3 月	4	地域奉仕団第 3 回市区長村委員長会議
	12	第 5 回八街市赤十字奉仕団役員会

（事業の課題及び展望）

日赤奉仕団の運営と八街市地区業務を滞りなく遂行するため、県支部と日赤奉仕団と常に情報の共有を行い連携して取り組んでいく必要がある。

■災害時における救援物資の配布

（内容）

市民が火災等の災害の際、半焼（半壊）・全焼（全壊）の状況によりお見舞金をそれぞれお渡しした。

(実施日及び実績等)

- ・日本赤十字社千葉県支部から 4 件 20,000 円
- ・物資 毛布 5 枚 緊急セット 2 セット

(事業の課題及び展望)

迅速にお見舞い金や物資をお渡しできるよう関係機関と連携する必要がある。

○基本目標 (二) みんなの心が育む人づくり

⑭ ボランティア活動の促進

計画の推進状況：高齢化やコロナ禍の影響によりボランティアやボランティア団体が減少している中、新たなボランティアの発掘や育成するために、ボランティア養成講座の開催や、助成金を交付しボランティア活動の動機付けをするなど、ボランティアの育成に努めた。

○事業内容詳細及び課題

■ボランティアセンターの運営

(内容)

ボランティア活動及びボランティアグループの育成、各種行事へのボランティア派遣の連絡調整、ボランティア養成のための各種講座開催など、ボランティア開拓のための活動拠点として、ボランティアセンターを設置し運営を行った。また、ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の加入手続きを行った。

(実施日及び実績等)

【ボランティア登録者数】

登録人数：1,301 人

登録グループ：53 グループ 1,018 人 個人：277 人

災害ボランティア:6 人

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
登録人数	1,051 人	1,053 人	1,301 人
登録グループ	47 グループ	49 グループ	53 グループ
グループ人数	973 人	931 人	1,018 人
個人ボランティア	77 人	119 人	277 人
災害ボランティア	1 人	3 人	6 人

【ボランティア講座の開催】

朗読ボランティア入門講座（全４回） 9/4、9/11、9/18、9/25

於 中央公民館 講師 白井朗読サロン 森田 清香氏 参加者延べ 64 名

傾聴ボランティアフォローアップ講座（全４回） 2/4、2/11、2/19、2/25

於 中央公民館 講師 NPO 法人スピリッツ 下大藺 麻衣氏

熊埜御堂 内保子氏

参加者延べ 70 名

【ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入手続き】

ボランティア活動保険：基本プラン 805 名、天災プラン 6 名

ボランティア行事用保険：社会福祉協議会事業 43 件、地区会活動 4 件、地

区社協事業：11 件、ボランティア活動 20 件、老人福祉センター・南部老人憩いの家 38 件、児童館 5 件、その他 19 件

保険の適用：賠償事故 物損（羽釜、セイロ、釜ふた）

（事業の課題及び展望）

ボランティア活動でも、活動者の固定化や高齢化、若年層の不足、関心はあるが現実の行動につながらない等の課題があり、新たな担い手の確保や活動の継続性等が求められている。

■ボランティアセンター運営委員会の開催

（内容）

ボランティアセンター業務の効果的推進を図るため運営委員会を開催した。

（実施日及び実績等）

第 1 回運営委員会 6 月 3 日（月） 参加者 7 名

（事業の課題及び展望）

新たなボランティアの担い手を確保するために企業や福祉関係以外の団体の連携を強化し、ボランティア活動の視野を広げる。また、SNS やメディアを活用し、ボランティア活動の魅力を発信するなどの広報活動の強化を図る。

■ボランティア連絡協議会への協力

（内容）

ボランティアセンターに登録するボランティアの有志で組織され、ボランティア連絡協議会が実施するボランティア相互の交流、啓発、情報交換や連絡調整等の協力を行った。

（実施日及び実績等）

総会：3 回開催 役員会：1 回開催

【第 29 回八街市ボランティア大会】

令和 6 年 8 月 23 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時

於：市中央公民館 参加者：約 230 名

（事業の課題及び展望）

様々なボランティア活動を紹介、かつ発表の場を設け、ボランティアの興味関心に応える。また、ボランティアのモチベーション維持を目的とした交流会の要素も取り入れてた行事を開催する。

■ボランティア活動推進園への助成

(内容)

市内幼稚園、保育園の協力を得て連携強化を図り、幼児期から福祉に対する関心を深めることを目的にボランティア活動推進園を指定し、年間活動費10,000円を助成した。

(実施日及び実績等)

12園：八街第一幼稚園、朝陽幼稚園、八街すずらん幼稚園、明德やちまたこども園、八街保育園、実住保育園、朝陽保育園、交進保育園、二州第一保育園、二州第二保育園、風の村保育園、八街かいたく保育園

(事業の課題及び展望)

地域の方々や社会福祉施設とのふれあい・交流の場を提供し、楽しさや相手に喜ばれ感謝される体験を通して、思いやりの気持ちや人の役に立とうとする意欲を育てていく。

⑮福祉教育の推進

計画の推進状況：誰もが安心して暮らせるまちづくりには、お互いを認め合い理解し、お互いさまの考え方を醸成するために、福祉教育の出前講座や夏休みボランティア体験教室を開催するなど、発達段階に応じた福祉を学ぶ機会を提供した。

○事業内容詳細及び課題

■福祉教育活動への助成

(内容)

福祉教育を実施する市内すべての小学校及び中学校を福祉教育推進校として指定し、推進校の児童・生徒を対象に体験学習等を通して福祉への理解と関心を高めるとともに、あわせて児童・生徒を通して家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的に助成を行った。

(実施日及び実績等)

5月開催の校長会で各市立小中学校へ30,000円の助成を行った。

(事業の課題及び展望)

引き続き、福祉教育を推進していく中で、各小中学校から福祉教育担当職員を選出いただき個別に学校を訪問し福祉教育等の事業についての説明を行っていく。

■市立小中学校校長会・教頭会との連携

(内容)

福祉教育の推進や街頭募金活動などを効果的に実施するために、校長会・教

頭会に出席し、事前に事業及び協力等の説明を行った。

（実施日及び実績等）

校長会：年４回出席（５月、９月、１１月、１月）

教頭会：年４回出席（５月、９月、１１月、１月）

（事業の課題及び展望）

教育委員会を通し、校長会や教頭会に出席させていただき、社協の機能や役割と社協が提案する福祉教育の考え方について、説明するとともに信頼関係を作る。

■国際交流協会との連携

（内容）

国際交流協会との相互の情報共有を行い、外国籍の住民のニーズや課題を把握し、適切な支援を提供できるよう連携を図った。また、言語の壁に悩む外国籍の方々へ日本語の指導の連携を図った。

（実施日及び実績等）

国際交流協会総会に出席（年１回）

国際交流協会役員会に出席（年４回）

インドネシア共和国西ジャワ州チアンジュール県訪問支援

（事業の課題及び展望）

国際交流に関する専門知識やスキルを持つ人材育成と、外国籍の住民の生活や文化に対する地域住民の理解を深めるための啓発活動が必要である。

■夏休みボランティア体験教室

（内容）

市内小学４～６年生、中学生、高校生を対象に福祉に対する理解を深めることを目的として、ボランティアグループ、NPO法人、社会福祉施設などの協力により実施した。

（実施日及び実績等）

協力団体：朗読グループやまびこ、点字グループともしび、手話サークルでのひら、八街市聴覚障がい者協会、障がい者福祉サービス事業所八街わらの里、NPO法人やちまた放課後クラブぶらんこ、特別養護老人ホーム空、NPO法人セブンエイチ小規模多機能型居宅介護ゆるるか、特別養護老人ホームひだまりの里、ふくしフェスタ 2024、ボランティアセンター

参加者：延べ４２名

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
プログラム数	中止	9	11
参加者	中止	延べ 46 名	延べ 42 名

（事業の課題及び展望）

夏休みの学校行事等と日程が重複してしまうことがあるため、事前に調整が必要である。

■出前講座の実施

（内容）

地域や小中学校等へ出向き、ボランティアや防災などに関する知識や理解を深めてもらうための講座を開催した。

（実施日及び実績等）

防災講演会：8 回 講師：ボランティアコーディネーター 今井和代

受講者：延べ 323 名

依頼団体：文違区、大東区虹の会、市障がい者協会、四区、印旛郡市子ども育成会、佐倉市男女平等参画推進センター、佐倉市ファミリーサポートセンター、佐倉市シルバー人材センター

高齢者疑似体験・車椅子体験：1 回 講師：社協職員

依頼団体：二州小学校 4 学年、5 学年

（事業の課題及び展望）

参加者のモチベーション維持や講座内容の質向上、講座の広報活動などを強化する。また、オンライン化することにより、より多くの人に講座を届けられる可能性や、多様なテーマの講座開催が期待できる。

⑩福祉団体の育成

計画の推進状況：各種団体の育成のために助成金を交付し団体のネットワーク機能の強化に寄与することができた。

○事業内容詳細及び課題

■各団体への活動費の助成

（内容）

障がい者団体、福祉団体へ会員数、事業規模に応じて下記のとおり助成金を交付した。

(実施日及び実績等)

団 体 名	R4 助成金額	R5 助成金額	R6 助成金額
八街市シニアクラブ連合会	60,000	60,000	60,000
八街市連合婦人会	50,000	50,000	50,000
八街市民生委員児童委員協議会	110,000	110,000	110,000
八街市身体障害者福祉会	75,000	75,000	30,000
八街市手をつなぐ親の会	30,000	30,000	30,000
八街市聴覚障がい者協会	20,000	20,000	20,000
八街市精神障害者家族会きんもくせいの会	5,000	5,000	5,000
千葉県視覚障害者協会八街市部あおば会	20,000	20,000	0
ダウン症がある子と親の会ジュピター	20,000	20,000	20,000
八街市障がい者団体 ゆめみらい	10,000	10,000	10,000
八街市遺族会	0	30,000	30,000
合計	400,000	430,000	368,000

(事業の課題及び展望)

助成金の原資の募金額が年々減少しているため、会員数、事業規模に応じた募金額を調整する必要がある。

■各団体との共催、後援事業の実施

(内容)

社会福祉の向上を図るため関係機関との連携を強めるため、各種行事の後援及び共催を行った。

(実施日及び実績等)

月 日	行事の名称	主催者名	後援内容
4月6日	めいろう花桜菜マルシェ2024	社会福祉法人光明会	名義使用 出店協力
5月1日	八街市中高生向けの居場所事業	(旧名称)任意団体 in 86 s (新名称)一般社団法人 子どものみらい開墾社	名義使用
5月11日	令和6年度八街北地区社会福祉協議会/八街北地区三区合同防災訓練	八街北地区社会福祉協議会	名義使用 運営協力
6月1日	制服リユース	NPO 法人ハーベスト ミュージックジャパン	名義使用 制服回収
7月7日	第13回八街市カラオケ連協 チャリティー「歌謡祭」	八街市カラオケ連絡協議会	名義使用
8月1日	第25回めいろう夏まつり	社会福祉法人光明会	名義使用
9月15日	やちまた落花生まつり2024	やちまた落花生まつり実行委員会	名義使用 出店協力
9月28日	やちまたふくしフェスタ2024	やちまたふくしフェスタ2024 実行委員会	名義使用 運営協力

9月28日	RUN伴+2024 in 八街	RUN伴2024 in 八街 実行委員会	名義使用 運営協力
10月26日	障がいのある方の「性」に関する講演会	株式会社 夢のカタチ	名義使用
10月26日	おいでよ！コープみらい八街の森	生活協同組合コープみらい	広報・ 出店協力
11月3日	第12回八街御成街道祭り	第12回八街御成街道祭り 実行委員会	名義使用
11月24日	朝陽いきいき祭り	朝陽地区社会福祉協議会	名義使用
12月7日	四木ありがとうまつり	吉田 玲子	名義使用
令和7年1月 18日	第62回新春子ども書初め展	八街市子ども育成連絡協議会	名義使用 運営費助成

（事業の課題及び展望）

今後は各種団体との連携及び協働を推進するため、後援等の継続と強化を図っていく必要がある。

基本目標（三）誰もが尊重され、暮らし続けられるまちづくり

⑰総合相談事業の運営

計画の推進状況：計画で掲げている「包括的相談支援体制」を社会福祉協議会では、どのような相談でもワンストップ受け止められるよう機能強化に努めた。

○事業内容詳細及び課題

■心配ごと相談所の運営

（内容）

市民の相談を分野を問わず、受け止めるため弁護士による無料の法律相談、心配ごと相談員による相談を下記のとおり実施した。

（実施日及び実績等）

- ・心配ごと相談所の開設（月2回※第1・第2水曜日 年間24回）
所長1名、専門相談員1名、常勤相談員4名、一般相談員2名
弁護士による法律相談の実施（年27回）※臨時を含む
弁護士 高橋 馨氏

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談利用者数	271名	275名	272名

・心配ごと相談員研修会の開催

令和7年1月17日（水）

2月27日（火）心配ごと相談員・民生委員合同研修会

講師 弁護士 高橋 馨氏

・心配ごと相談所運営委員会の開催

第1回 6月3日（月）

（事業の課題及び展望）

年々減っている心配ごと相談の継続の可否を今後検討していく必要がある。また、次年度は民生委員の一斉改選の年であるため、運営体制についても検討していく必要がある。

■ボランティア相談の実施

（内容）

ボランティアを依頼したい方や、ボランティアとして活動したい方の相談を行った。また、相談では、活動の探し方や登録方法、必要な知識などのアドバイスも行った。

（実施日及び実績等）

相談件数：54件（処理件数54件）

主な相談内容：市役所各課からイベント開催の運営支援、幼稚園・保育園・社会福祉施設からイベント開催支援、傾聴ボランティア派遣、施設入所者の裁縫、指導、日本語指導など

3年間の実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	22件	40件	54件

（事業の課題及び展望）

依頼する側（団体など）とボランティアの間でニーズや期待のずれ、情報不足、時間的な制約、経験やスキル不足などがある。そのため、日ごろからボランティアグループやNPO、各種団体との連携を強化し、相談体制を整備する。

■生活困窮者自立支援事業の受託

（内容）経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる

おそれのある方に対し、相談・支援を行い、自立と尊厳を確保することを目的に実施している。

(実施日及び実績等)

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	258件	205件	203件
延べ相談件数	1,284件	1,038件	1,111件
プラン作成件数	123件	56件	74件
就労者数	25人	27人	25人
増収者数	1人	1人	0人
住居確保給付金決定件数	51件	5件	0件
認定就労訓練事業利用人数(※)	7人	6人	4人
ハローワーク出張相談利用者数	18人	21人	20人

※認定就労訓練先・・・生活クラブ風の村特養ホーム八街、株式会社クレエ

(2) 生活困窮者就労準備支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	1件	0件	1件
参加者実人数	2名	0名	1名
延べ相談支援件数	134件	0件	4件

(3) 生活困窮者家計改善支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	17件	5件	6件
延べ相談支援件数	103件	31件	71件
プラン作成件数	17件	5件	16件

(4) 被保護者就労支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	23件	21件	14件
延べ相談支援件数	140件	200件	131件
就労者数	9人	11人	3人
ハローワーク出張相談利用件数	24件	33件	14件

(5) 被保護者就労準備支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	1件	1件	0件
延べ相談支援件数	28件	23件	20件

(6) 被保護者家計改善支援事業

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	3件	2件	1件
延べ相談支援件数	4件	31件	16件

(事業の課題及び展望)

相談員の資質向上並びに伴走型支援により、相談者との信頼関係を構築し、早期に課題が解決できるよう取り組んでいく。

■気になる子どもの個別相談の実施

(内容)

子育てや子どものことで悩んでいる保護者や関係者をはじめ、社会問題になっている８０５０問題の世帯、発達障害により生きづらさや働きづらさを感じている方など、多様な相談者を対象に、淑徳大学教授 臨床発達心理士の松浦俊弥先生による個別相談を実施した。また、１２月には交流事業を実施した。

(実施日及び実績等)

・毎月１回 不定期の月曜日に実施

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
相談件数	62件	60件	52件

・１２月は勉強会または研修会を実施

１２月１６日（月） 参加者３１名

テーマ 気になる子どもの未来を考える勉強会

(事業の課題及び展望)

必要とする相談者にこの情報が届けられていない可能性があるため、今後は今まで以外の方法で情報を発信することを検討していく。

⑱ 各種資金貸付事業

計画の推進状況：各種貸付により経済的自立と自立意欲の促進を図り、安定した生活を支援した。また、様々な困りごとに対し、包括的相談体制を構築したことにより、誰一人取り残すことのないまちづくりを推進している。

○事業内容詳細及び課題

■生活福祉資金貸付事業の受託

(内容)

千葉県社会福祉協議会より委託を受け、各種資金の相談及び貸付を行うことにより、世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的とし実施した。

(実施日及び実績等)

内 容	令和４年度	令和５年度	令和６年度
相談件数	299件	225件	233件
生活福祉資金貸付件数	102件	83件	68件
貸付合計金額	31,855,000円	27,026,100円	21,189,874円

(事業の課題及び展望)

生活困窮者自立支援事業と十分な連携の上、必要な貸付を行い、世帯の自立を図っていく。

■貸付相談員の配置

(内容)

生活福祉資金に係る相談援助を円滑に行うために配置した。

(実施日及び実績等)

貸付相談員3名を配置した。

(事業の課題及び展望)

円滑な事業運営が継続できるよう相談員の配置を行っていく。

■自立生活支援員の配置

(内容)

生活福祉資金の借受人等に対し、生活状況を把握し、自立した生活が送れるよう支援するために配置した。

(実施日及び実績等)

自立生活支援員1名を配置した。

(事業の課題及び展望)

円滑な事業運営が継続できるよう自立生活支援員の配置を行っていく。

■緊急小口資金等特例貸付債権管理事務の受託

(内容)

滞納状態にある方に対し、電話連絡や生活・就労等の現況確認を行う。

また、状況に応じて個別訪問や相談支援などの対応を行うことにより、生活の再建及び返済が可能となるよう支援を行う。

(実施日及び実績等)

内 容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
架電数		378	1631
戸別訪問数		15	356
猶予申請意見書作成数		33件	13件
免除申請意見書作成数		0件	1件

(事業の課題及び展望)

アウトリーチを行い、該当世帯への早期介入を行うことで課題解決を図っていく。

⑩ 広報・啓発活動

計画の推進状況：情報発信の充実を図るため、多様な情報の発信を行い、情報を必要とする市民に伝わるよう努めた。計画の推進では全ての取り組みに情報発信は欠かせない取り組みのため、デジタルとアナログの両面で発信した。

○事業内容詳細及び課題

■広報「ふくしやちまた」の発行（年３回）

（内容）

本会の会報を発行することにより、市民の皆様に本会の活動の内容や、ご寄付いただいた皆様の紹介など、社会福祉法人としての公益的な取り組みの情報発信を行った。

（実施日及び実績等）

会報ふくし 159号 6月26日発行

160号 10月23日発行

161号 令和7年1月22日発行

（事業の課題及び展望）

市民の興味が湧く広報づくりをブラッシュアップするために協議を重ねて行く必要がある。また、残部が減っているものの回覧では残部がかなりあるのご意見をいただくことがあった。

■公式ホームページの充実

（内容）

市民へ有益な情報を発信するために、本会の公式ホームページの充実を図った。

（実施日及び実績等）

・閲覧数

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
閲覧数	9,408	9,534件	11,250件

（事業の課題及び展望）

ホームページの更新作業が追いついていないのが現状である。各係ごとに担当者を決める必要がある。

■地域ぐるみ福祉推進標語・ポスターの募集・活用

（内容）

地域ぐるみ福祉活動を推進するために、市内小学4年～6年の児童から地域住民に呼びかける福祉の標語・ポスターを募集した。入賞作品は、八街ロータリークラブ、八街ライオンズクラブより助成金をいただき、ポスターとポケットティッシュを作成し、配布を行い地域住民の福祉意識の高揚を図った。

（実施日及び実績等）

・ポケットティッシュ作成 8,250個

- 市内各小中学校、幼稚園、保育園等を通して児童、生徒に配布
- ・ B2 判ポスター作製 160 枚
- 市内各小中学校、幼稚園、保育園、各区 CC 等に掲示
- (事業の課題及び展望)

対象児童全てに授業で取り組んでもらうことを校長会並びに教頭会で依頼するものの、カリキュラムに入れることは非常に困難で、標語・ポスターの提出期限を7月中旬に設定しているため、代表児童を選出して取り組ませる現状がある。さらには業間休みや昼休みに合作で取り組む学校も出てきている。夏休みの課題として依頼してもらった方が協力しやすいという声も出ているため、募集期間の見直しも必要である。

■ SNS・LINE の活用

(内容)

市民に多角的に情報を発信するため、X、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用した。

(実施日及び実績等)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
X 登録数	940	989	999
Facebook 登録数	148	186	202
Instagram 登録数	598	721	814
LINE 公式アカウント 登録数	449	562	652

(事業の課題及び展望)

情報のリアルタイムの発信が求められるため、情報発信担当者を各係に配置する必要がある。

②⑩ 在宅福祉サービス促進事業

計画の推進状況：少子高齢化が進む中、家事や買い物、通院など一人暮らし高齢者や障がい者等の福祉課題は、行政サービスのみでは課題解決に至らないことがあるため、住民相互の協力による助け合いのサービスの充実を図った。

○事業内容詳細及び課題

■介護機器等の貸出し

(内容)

市内在住の障がい者・高齢者の方々に車椅子等の貸し出しを行った。

(実施日及び実績等)

車椅子貸出：延べ 163 台 市内各郵便局貸出：8 台

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
車椅子貸出	延べ 172 台	延べ 144 台	延べ 163 台
市内各郵便局貸出	8 台	8 台	8 台

(事業の課題及び展望)

利用希望者の発掘、声掛けを行う。

■在宅福祉サービス「ほほ笑み」事業の充実

(内容)

ひとり暮らし高齢者や障がい者世帯等で、さまざまな理由により日常生活上の家事などで困っている方を対象に、その負担を少しでも和らげるために、福祉に理解をもった地域の方（協力会員）が訪問し、家事援助を行った。

(実施日及び実績等)

利用状況

協力会員：20 名（男性：7 名 女性：13 名）

利用会員：55 名（男性：13 名 女性：42 名）

協力会員派遣延べ人数

活動時間：1,274 時間

(時間内活動：1,207 時間 時間外活動：67 時間)

主なサービス内容：掃除、洗濯、食事の支度、買い物、ゴミ出し、草刈り、植物の手入れ など

3 年間の実績

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
協力会員	20 名	20 名	20 名
利用会員	58 名	63 名	55 名
協力会員派遣延べ人数	1,065 人	901 人	894 人
活動時間	1,679 時間	1,357 時間	1,274 時間

(事業の課題及び展望)

協力会員の担い手不足と利用者や家族のニーズに応じた質の高いサービス提供が求められている。担い手を確保するためには、魅力的な活動や待遇の整備、人材育成、そして地域との連携を深めていく。

■日常生活自立支援事業の「基幹的社協」の受託

(内容)

基幹的社協として高齢者や障がい者の権利を擁護するために、千葉県後見支援センターと連携し、日常生活自立支援事業の推進を図った。

(実施日及び実績等)

利用者：26名 生活支援員：11名

(利用者状況)

新規契約者	7名
令和6年度末契約者数	26名
相談人数	20名
電話相談・訪問調査延べ回数	高齢者 500回
	知的障害 50回
	精神障害 60回
	その他 15回
	合計 625回

3年間の実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者	25名	24名	26名
生活支援員	13名	12名	11名

(事業の課題及び展望)

利用希望者の発掘・声掛け、新規生活支援員の確保を行う。

■成年後見制度事業の推進

(内容)

判断能力の低下により市民が不利益を被ることがないように、その生活と権利を擁護することを目的とし、成年後見制度に係る相談支援、制度に関する広報啓発活動、法人で後見人等の受任業務を行った。また、業務実施にあり、適正な法人後見業務を担保するため、運営委員を設置した。

(実施日及び実績等)

成年後見運営委員：8名

令和7年3月末時点 受任件数0件

累計受任件数：3件 内3件終了

受任世帯の1件は令和6年12月2日に逝去されたため令和7年3月末時点で受任件数0件となる。

対象世帯訪問回数 16回

(事業の課題及び展望)

新規の受任を検討する。

■民生委員・児童委員協議会運営業務の受託

(内容)

八街市より民生委員・児童委員協議会運営業務を受託し、民生委員活動が充実するよう運営した。

(実施日及び実績等)

月	日	曜日	事業内容
4	5	金	運営委員会
	17	水	新任民生委員児童委員研修会
	19	金	(地区民児協会議)
5	9	木	会計監査・運営委員会
	24	金	市民児協総会
	//	//	懇親会
6	6	木	運営委員会
	21	金	(地区民児協会議)
	//	金	市町村民児協事務担当者会議
7	19	金	高齢者障がい者対策部会
			生活福祉対策部会
8	2	金	運営委員会
	23	金	(地区民児協会議)
	//	//	新任民生委員児童委員研修会
9	11	水	女性子ども対策部会
	18	水	交流会
10	4	金	運営委員会
	9	水	千葉県事例検討研修会
	15	火	千葉県中堅民生委員児童委員研修会
	31	木	(地区民児協会議)
11	1	金	運営委員会
	22	金	市民児協定例会
12	4	水	単位民児協会長研修会
	9	月	運営委員会
	20	金	市民児協定例会
1	9	木	運営委員会
	24	金	市民児協定例会
	//	金	新年会
2	14	金	千葉県相談技法研修会
	27	木	市社協主催民生委員研修会
3	7	金	運営委員会
	//	//	千葉県リーダー研修会
	19	水	千葉県主任児童委員研修会
	21	金	(地区民児協会議)

(事業の課題及び展望)

八街市の民生委員・児童委員の定員は94名であるがここ最近では欠員が数名常にいる状況が続いているため、次年度は一斉改選の年であるため、推

薦いただく区長の皆様に協力をいただきたい。

■遺言ノート作成

（内容）

相続や遺言など、終活に必要な知識や親なきあとを安心して暮らせるよう、遺言ノート（わたしの整理帳）を制作した。

（実施日及び実績等）

令和6年度中の発行に向けて、サイシン広告と業務締結し2,500部の発行することができた。

（事業の課題及び展望）

残部がなくなった場合、市民のニーズに応じて再度発行を検討していく。